

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(

京都市立砂川小学校

)

1 平成26年度 重点評価項目

・「時」:学ぶ力を育てる教育の推進 ・「絆」:たくましく生きる力を育む教育の推進 ・「命」:健康で安全に楽しく学べる教育環境づくりの取組

2

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					自己評価		学校関係者評価						
					評価日	平成26年8月28日	評価日	平成26年9月12日					
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策					
1	確かな学力	基礎基本の徹底、活用力の向上 言語活動の充実、コミュニケーション力の育成 学校図書館の活用と読書活動の充実	1人1回の授業公開年4回の授業研究 計算タイムの充実 各教科での言語活動のさらなる充実、場面場面での言葉の指導 50冊ハーフマラソン表彰、地域図書館での団体貸し出しの利用、朝読	家で宿題や家庭学習は出来ていますか。ジョイプロの結果。 友だちと協力して学習ができていますか。 自分から進んで読書をしていますか。	ジョイントプログラム国語・算数の正答率アップ。 「協力して学習している」児童の割合は、91% 自分から読書約79%、50冊ハーフマラソン表彰197名(約40%)	⇒	・家で家庭学習をしていると答えているが、身に付いているかとの質問の回答は下がる。家庭学習の内容を考える必要がある。 ・読書については、「家庭でも読んでいる」という児童が、昨年度より10%アップしていた。	⇒	・家庭学習では取り組んでいる児童は多い。学習したことが身につく方法を見直す。 ・読書の楽しさをもっと知らせ、感じさせていきたい。 ・言語活動については、日常においてTPOに合った話し方や各教科における言語活動について研究する。	⇒	・家庭学習のよい事例を提示してはどうか。 ・大人もTPOに合わせた話し方の手本を見せないといいない。 ・親が子どもに読み聞かせすると、本にもっと親しみを持つのではないか。	⇒	・読書の習慣化については、読書活動委員会との連携を図る。 ・学校運営協議会の各委員会の話し合いを持つ。
2	豊かな心	豊かな体験活動 適切な児童理解・実態把握 異年齢集団活動の充実	PTA・地域行事土曜学習の参加 問題行動の早期発見・早期対応 生活アンケート実施分析 児童会活動の充実	PTAや地域行事に参加していますか。 帰ってからしたことゲームをした時間 グループ活動、スマイル遠足、秋の運動会の感想	PTAや地域行事に参加している児童・保護者約55% 帰宅後宿題をすます児童がほとんどだが、その後はゲームが多い。 低:お兄さんお姉さんが優しくかった。高:しっかりしないといけない。	⇒	・PTAや地域行事に参加している児童や保護者は増えている。 ・異年齢集団の活動を通じて、低学年は高学年を慕い、高学年は低学年を思いやる気持ちが育っている。	⇒	・体験活動で感じたこと、考えたことを表現する機会を考える。 ・経験を増やすことにより、相手のことを思いやれる心情を育てていきたい。	⇒	・PTAや地域行事に参加する人数が増えて、やりがいがある。 ・ケイタイやPCの使い方、学校で教えていることは、児童がもうすでに知っていたり使っていたりすることが多いように思う。	⇒	・ボランティア活動や地域行事については、学校運営協議会としてもサポートしていく。 ・学校運営協議会としても、PTAや地域行事に参加して、児童の言動をしっかり見ていく。
3	健やかな体	基本的な生活習慣の育成 体力の向上	生活がんばり表(年3回)生活アンケートの実施分析 運動部活動の参加状況 体力テストの結果分析	起きる時刻、朝ご飯、 運動部の種類 運動部活動参加状況	7時半までに起きる95%朝ご飯食べる97% 運動部9種類 運動部参加約95%	⇒	・早寝、早起き、朝ご飯＋うんちの習慣をつけたい。 ・運動好きで、運動に親しむ児童が多い。	⇒	・早寝、早起き、朝ご飯はできてきているが、うんちについては、朝でない児童が多い。食生活やうんちが出る習慣について、指導を続ける。	⇒	・運動する児童が大変多いと思う。 ・運動の苦手な児童も自分のできそうな運動を見つけてしようとしている。	⇒	・運動に関するイベントについて、できるだけ開催できるように学校運営協議会として、協力できるようにしていきたい。
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 適切な児童理解・実態把握 情報発信の充実	小中合同研修会年2回 吹奏楽のタベ、部活体験、オープンスクール スマイル(校長)面談 積極的なHPの更新	小中合同研修回数 小中合同主任会 学校が楽しいですか。自分のことが好きですか。 学校は、各おたよりやHPで学校の様子を伝えていますか。	小中合同研修年3回 教務・生徒指導主任会月1回 昨年度より、約8%アップ。 伝えている約97% 平成26年度(前期)アクセス数36516回	⇒	・小中学校の教員がお互い隔年に授業公開をし、授業の進め方が少しずつ分かってきた。 ・担任外との面談で、児童の違う面が出ています。 ・HPについては、日々更新していて、保護者もよく見ている。	⇒	・中学校の授業の進め方で良いところを見つけ、先を見越した指導に努める。 ・児童の課題を共有していく。 ・HPの更新は、できるだけ小まめにしていく。	⇒	・校長先生と話しができるというのは、いいことだと思う。自分たちの時は、話せなかったように思う。 ・HPの更新をがんばっているのはすごいと思う。しかし、それが当たり前になっていかないと心配する。	⇒	・学校運営協議会としても「子どもを9年間育てる」という目標で捉えていきたい。